

私たちの ワークスタイル

- ICHINOMIYA STYLE BOOK -

時代の流れと共に考え方やスタイル、自然環境まで変わってきた。
その中でも人生の多くの時間を費やす仕事が快適に、楽しかったら最高。
仕事について、一宮市らしくファッションの観点からもう一度考えてみよう。
キーワードは〈T.P.O〉と〈清潔感〉。

はじめに

私たちは、イチカレ「楽しく学ぶ！公務員の服装戦略」を契機に集まり、i-コーデプロジェクトが発足しました。

職員制服の在り方の検討に始まり、現代の仕事着にはこういったスタイルが適しているのか、その役割や目的などについて議論を重ねてきました。

近年、従来のフォーマルなスタイルに少しカジュアルな着こなしを取り入れた“ビジネスカジュアル”や“オフィスカジュアル”を推奨する企業も増えています。話し合いを進めるうちに、画一的な服装ではなく、機能的かつリラックスして仕事ができる着こなしの幅を広げる提案ができれば、と方向性が見えてきました。

自分にとって快適であるアイテムを取り入れつつ、〈T.P.O〉と〈清潔感〉を押さえた着こなしを楽しむ。そんな提案が快適に仕事をする一助になればと考え、スタイルブックを作成しました。ぜひ一度ご覧ください。

i-コーデプロジェクト



Think about...

まずは〈T.P.O〉〈清潔感〉について自分の中での簡単なルールを作ってみよう。
決まったものはないけど、参考に5つのポイントを挙げてみた。

T.P.O

Time・Place・Occasionの頭文字からなる和製英語。自分も周囲も快適でいられるスタイル。
PはPositive”でもいいかもね。

Clean

清潔感好感度を高めるばかりではなく、信頼を得るために重要な要素。他者の気持ちになって考えてみよう。

#01 Simple & Chic

シンプルなデザイン。

デザインがシンプルであるほどしっかり感があり、さらに濃い色のもを選ぶとベター。カジュアルだと思うアイテムも取り入れやすくなる。



#02 Size

適度なサイズ選び。

いくらオーバーサイズと言っても過度なものはだらしなく見えてしまうことも。バランスよく、適切なサイズ選びをしよう。



#03 Self check

露出や透け感。

過度な露出や透けは周囲を不快にさせることも。室内と太陽光の下では透け感も異なるので注意しよう。色や素材、サイズに気をつけたり、一枚羽織るなど工夫を。



#04 Dairy upkeep

日々の手入れ。

シワや汚れがあると清潔感に欠けてしまう。シワがつきにくい素材を選んだり、日々のケアが大切。もちろん髪型や匂いなどの身だしなみにも気を配ろう。



歯磨きは口臭対策以外に気持ちの切り替えにも。



服や靴はブラッシングをするだけでも効果大。

#05 Important occasion

やるときはやる。

ここぞというときにはビシッと決めたい。言葉にも説得力が生まれる。何にでも合わせやすいジャケットなどの勝負服を持っておこう。



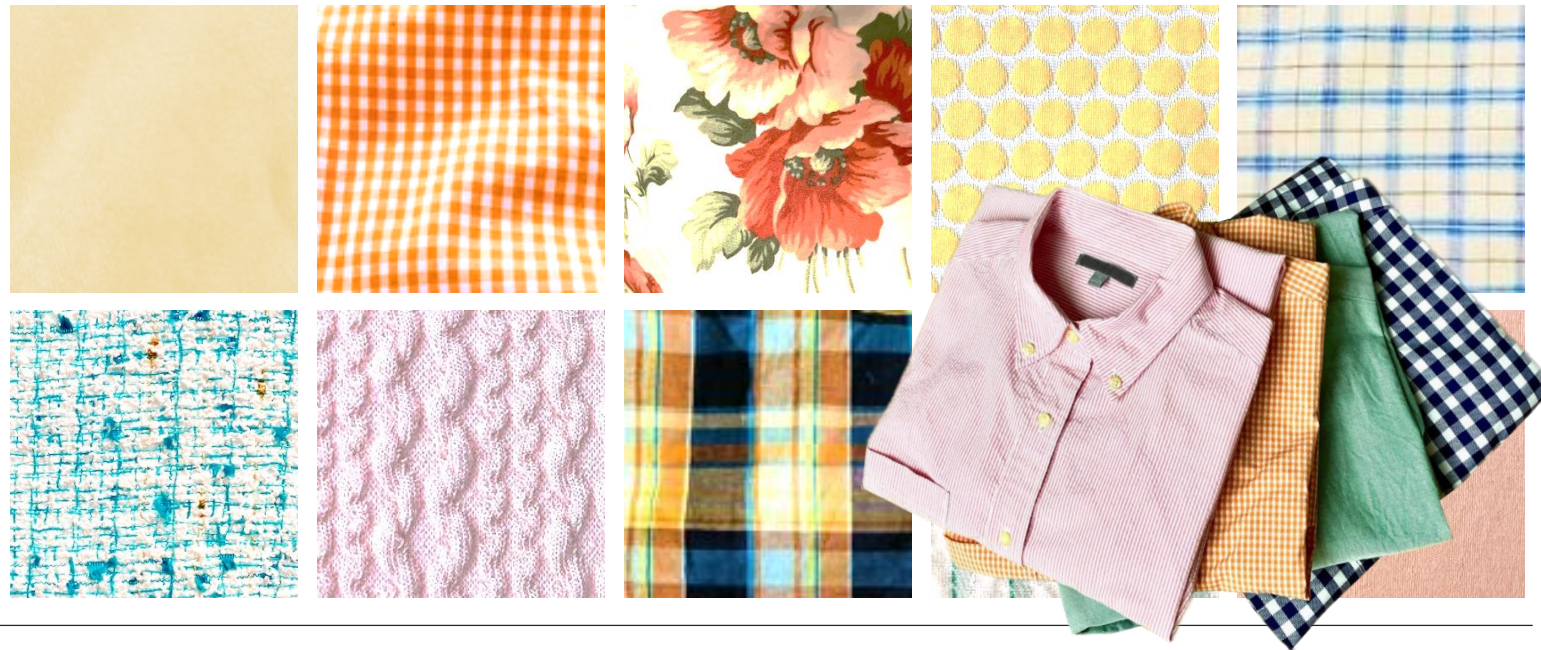
8 hints to find my style

ルール作りが出来たら、ヒントから自分のスタイルを探してみよう。

New color 1

普段選ばない色を着てみる。

季節の移り変わりに合わせて着る色や柄を変えてみよう。春ならパステルカラーを選ぶと季節感も出るし気分も上がる。誰かに似合う色を見立てて貰うと新たな発見があるかもしれないね。



Springy steps 2

足元から軽やかに。

春の訪れに合わせてスタイルを軽くしたい。そんな場合は足元から始めてみたらどうだろう。いつもの革靴をスニーカーに。パンツの裾を短く折ったり、靴下もカジュアルな丈や色に着替えてみよう。身も心も弾む。



スニーカーはボリュームが少なくシンプルなものを選ぶと取り入れやすい。キャンバス生地のものや解放感のあるサンダルだと軽やかな印象に。





3 Fabric

素材を変えてみる。

最近の日本の夏は、平気で10月まで真夏日が続く。どのようにしたら快適にすごせるだろうか。素材を麻やシアサッカー生地に変えてみたり、透け感のある素材を組み合わせると見た目にも涼しい。



5day uniform

制服化してみる。

毎日服を選ぶのは面倒。そんな人はかのスティーブ・ジョブズ氏のように、あらかじめ着る服を決めておいて自分の制服を作ってみるのはどうだろう。特に夏場はアイテム数が少ないので取り入れやすい。

4



ボトムスは着回しの効くベーシックなものを。



Layering 5

重ね着は無限。

最近急に暑くなったり、寒くなったり、四季がはっきりしないから、衣替えのタイミングが難しい。そんな時は重ね着で臨機応変に対応しよう。同じアイテムでも組み合わせによってカッコリと見えたり、カジュアルダウンもできる。様々なアイテムを組み合わせで自分なりのスタイルを探してみよう。



6 New classic style

もちろんカッコリも。

やっぱり自分はフォーマルなスタイルで仕事がしたい。もちろんそれもいいよね。取り入れるのが難しいイメージだけど、例えば革靴でも厚底だったり、生地や色にカジュアルなポイントがあるものを選ぶと取り入れやすい。



Autumn



スウェットやパーカー、フリースなどのスポーツウェアやアウトドアウェアは何故か仕事着ととても相性がいい。機能的で動きやすく、一枚でも重ねても着れちゃう。

Sports wear

仕事はスポーツだ。



8 Pop color accessories

小物で色を取り入れる。

寒くなってくると、どうしても暗いカラーのものばかりを身につけがち。そんな時はストラップや靴下などの小物で色を取り入れてみよう。小物一つで一気に印象が明るくなる。

